



教育目標
 明るく思いやりのある子(きよく)
 進んで学ぶ子(かしこく)
 健康でねばり強い子(たくましく)

栄養士 宮城葵先生の食育講話「マナーをまもってたべよう」

9月13日(水)に学校給食協同調理場の栄養士 宮城葵先生(写真1)を講師に、「マナーをまもって食べよう」と題して、幼稚園生に食育講話を実施しました(写真2・3)。

「マナーをまもってたべよう」のお話で、食事のマナーは、「どうやったら、みんなが楽しく食事ができるかというお約束です。」と、幼稚園生にわかるようにお話してくれました。その中でも3つ、「正しい姿勢で食べる(写真4)。正しいおわんの持ち方をする(写真5)。正しいおはしの持ち方をする(写真6)。」についてくわしく、お話してくれました。

子ども達は、この3つのことに気をつけて給食をいただいていた。話を聞いて、すぐに行動に移すことができる松田幼稚園生は、本当にすごいと思います。

これからも感謝の気持ちを忘れず、おいしい給食を正しいマナーでいただきましょう。

給食の献立を作成している葵先生、いつもありがとうございます。そして、今日は、子ども達のために食事の際のマナーについて分かりやすくお話していただき、本当にありがとうございました。



写真1 講師の葵先生



写真2 食育講話の様子①



写真3 食育講話の様子②



写真4 正しい姿勢



写真5 お碗の持ち方

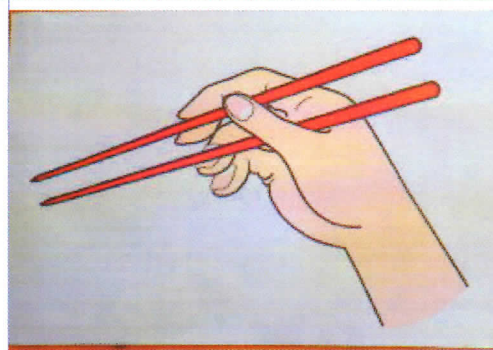


写真6 正しいおはしの持ち方



海と日本のプロジェクトin沖縄「海の課外授業」を5・6年生で実施

9月14日(木)、身近な海の自然を理解してもらおうと、しかたに自然案内の鹿谷麻夕先生、鹿谷法一先生を講師にお招きし、「海の課外授業」を行いました。台風の強風の影響がなければ、ちゅうみ水族館の「移動水族館」も設置し、実際の海の生き物を観察する予定だったのですが、中止になったのが残念でした。

鹿谷麻夕先生にお話の中で、沖縄の海岸は、①さんご礁 ②砂浜 ③海草藻場 ④砂や泥の干潟 ⑤マングローブの林の5つに分けることができます。その環境の中で多様な生物達がすんでいる様子をスライドの写真で説明してくれました。

その後、実際に沖縄の海岸に流れ着いた漂着物を観察しながら、海的环境について、考えたことや感じたことをみんなで話し合いました。沖縄の豊かな自然や美しいさんご礁を守るためにも、自分達でできることは何なのか、そして、実際に行動としてスタートさせることが大切だということを学んだ5・6年生でした。



写真7 講師の鹿谷先生方



写真8 漂着物の観察



写真9 講師と一緒に